

第408回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成22年2月3日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 10名

○出席委員数 8名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 清澤 研道

副委員長 中村 重一

委員 井出 進子

委員 小出 貞之

委員 小松 正俊

委員 塚田 芳樹

委員 中西 満義

委員 茂木 通則

4. 放送事業者側出席者

相崎 由松(代表取締役社長)

瀬木 潔(代表取締役副社長)

堀 眞一(代表取締役専務・報道局制作局担当)

関 義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田 敏和(編成局長)

飯嶋 憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

春原 晴久(制作局制作部長)

山口 慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS開局40周年記念特別番組

「我、開国の獅子とならん～作家・童門冬二が語る佐久間象山～」

1月2日(土) 午前7:00～7:55放送

6. 番組の内容

長野市松代町出身で、幕末に開国の必要性を訴え、吉田松陰ら志士たちに大きな影響を与えながら暗殺された思想家・佐久間象山の実像を、象山に詳しい作家・

童門冬二さんの話、あるいは童門さんと長野市長との対談などを通じて探っていく。

7. 審議の概要

- ・佐久間象山が江戸末期に開国しなければならないんだという強い信念を持って精力的に活動し、そのために殉じてしまった生涯、またその思想がどう形作られていったかを分かりやすく紹介した開局40周年記念また正月に相応しい質の高い番組だった。
- ・象山を語るに相応しい童門さんの起用が成功した。
- ・再放送や授業などで子供達に見てもらいたい作品だ。
- ・シナリオがしっかりしている。全体の構成のバランスが取れ、テンポが良かった。
- ・象山の歴史的意味を再認識する意味で、テンポの良い教養番組となっていた。
- ・1時間番組には収まりきれない題材で、かなり忙しく追いかけていくのが大変だった。